

## 平成19年度学術ポータル担当者研修レポート

### 【受講者】

- 2-1 石井 真由美 宇都宮大学 学術研究部学術情報課  
2-2 岡部 裕実 宇都宮大学 学術研究部学術情報課

#### (1) 発表資料の状況設定

教育学部教授会を設定。リポジトリについて予備知識のない教員にリポジトリについて紹介し、論文の提供を求める。

#### (2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

##### 【発表資料抄録】

リポジトリとは大学で生産された教育研究成果物を収集、蓄積、保存し、インターネット上で学内外へ発信するための電子書庫である。メリットとしては、研究成果の可視性の向上、研究成果の管理保存、大学のブランド力の向上、社会貢献の履行が挙げられる。リポジトリに登録できるのは教育研究成果物全般であるが、学術雑誌投稿論文は基本的に著者最終稿の登録となる。登録方法は図書館宛にファイル添付でのメール送付、学内便での送付、持込するだけで、あとは図書館で作業を行う。宇都宮大学の研究成果の蓄積、更なる発展のため、コンテンツ提供のご協力をお願いしたい。

##### 【講師からの助言】

- ・ パステルカラーは先生方の年齢によっては見にくいかもしれない
- ・ 視点を一貫すること(先生の視点なのか、図書館側の視点なのか)
- ・ プレゼンテーション資料は、学部ごとに変えたほうがいい
  - ・ 教育学部の先生は、理系文系と多様
  - ・ 文系学部に IEEE の説明は必要なし
- ・ 雑誌価格高騰についてのスライドは必要なし

##### 【研修発表との改訂部分】

- ・ 名称の UUR を UU-AIR に変更
- ・ 雑誌価格高騰のスライドを削除
- ・ 見やすくなるように全体的に文字と背景のコントラストを強くした。背景は無地に変更。
- ・ 実際のリポジトリの画面でメタデータ、本文がどのように表示されるかの具体例を追加。
- ・ メリットの項目を追加(大学のブランド力の向上、社会貢献)、変更した
- ・ 著者最終稿の説明を簡略化
- ・ 配布資料を作成(Q&A と著者最終稿について)

(3) リハプレゼンの概要(日時、場所、発表者、発表対象、参加人数)

日時：第1回 2007年9月18日

第2回 2007年10月2日(Q&Aと著者最終稿についての資料1枚配布)

場所：附属図書館 会議室

発表者：石井真由美

発表対象：第1回目は学術情報課職員、第2回は附属図書館分館長の教員

参加人数：第1回 学術情報課職員12名

第2回 附属図書館分館長の教員1名、その他学術情報課職員5名

(4) リハプレゼンへの反響(アンケートをとった場合の結果、感想の声等)

[質問]

- ・引用はどうなるのか
- ・掲載雑誌名、ページ等の情報は掲載されるのか
- ・パワーポイント資料の場合、どのような形でPDF化するのか。
- ・紙媒体の場合、電子化する際の解像度は？

[意見]

- ・文字が読みづらいので色を濃くした方がよい
- ・論文がどのように掲載されるのかの実例を見せるとイメージがわかりやすい
- ・著者最終稿に出版社のロゴが入っている場合もあるし、手書きの校正が入ったものもあるが・・・
- ・PDFのセキュリティの設定について
- ・共著者の許諾について、配布資料のQ&Aに載せた方がよい
- ・著作権についての説明があった方がよい

(5) その他(備考、今後の予定と希望 etc.)

ポータル研修でいただいた助言、リハプレゼンでの意見を踏まえて改訂を加えた資料を元に、10月24日、図書館専門委員会にてリポジトリに関する説明を行った。今後各学部の教授会で説明会を実施する予定である。

2008年4月公開予定。